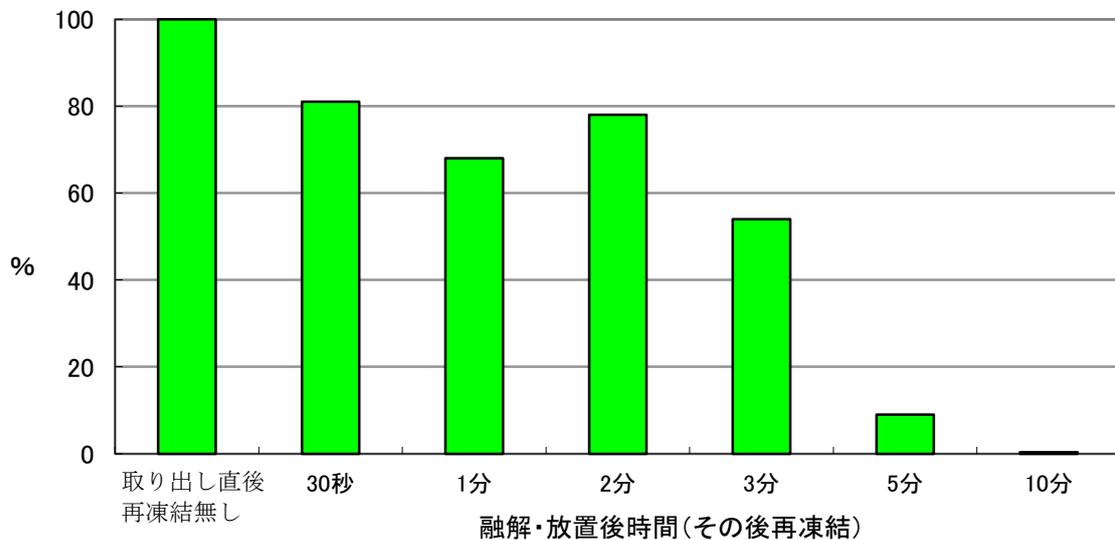


## アンプルを液体窒素から取り出し、融解後再凍結させた場合のワクチンウイルス量に対する影響

(融解後 30 秒～10 分間水道水中 (室温) に放置し、再び液体窒素中に戻して凍結。その後、再度取り出し、融解してワクチンウイルス力価量を測定。取り出し直後で再凍結無しの場合のワクチンウイルス量を 100 とする)



☆ワクチンを調整するときには必要なだけのアンプル本数を取り出して使用して下さい。取り出した後放置したアンプルは、再凍結しないで下さい。放置時間が 30 秒程度でもウイルス量は 20%近くも低下します。

※1984 年試験、ワクチンウイルス株 : HVT 株